



**2016年 3月期  
第2四半期 (4-9月)  
決算説明会**

**2015年11月9日**

石油資源開発株式会社

# 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

**Copyright:** 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料において 1H,2H はそれぞれ上期、下期を、  
(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

# 説明会の内容

---

## I. 事業の概況

代表取締役社長      渡辺      修

## II. 2016年3月期 第2四半期 決算の概要

執行役員                      山下 通郎

## III. 2016年3月期 通期業績予想修正の概要

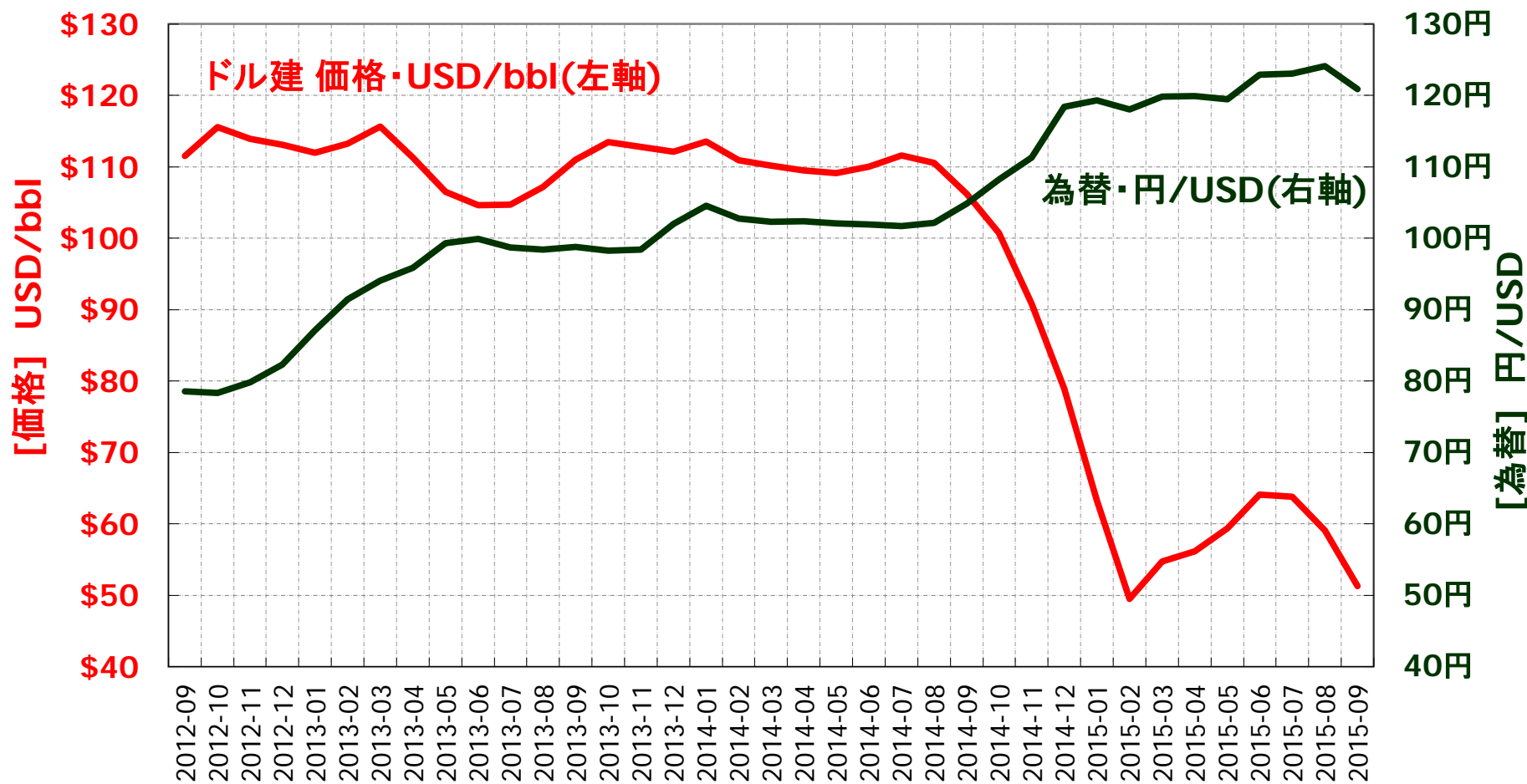
執行役員                      山下 通郎

---

# I. 事業の概況

代表取締役社長  
渡辺 修

# 原油価格と為替の動き



2015年10月上旬(10/1-10/10)分のCIF価格(速報)

USD 47.81/bbl    120.31円/USD

# 2016年3月期 通期業績予想修正(ハイライト)

[億円]	15/3月期	16/3月期				比較増減	
	4-3月通期実績 (a)	4-9月 1H 当初予想 (e) 5.12公表 ①	4-9月 1H 実績 (a) ②	4-3月通期 当初予想 (e) 5.12公表 ③	4-3月通期 今回予想 (e) 11.6公表 ④	4-9月 1H 比較 (②-①)	4-3月 通期 比較 (④-③)
売上高	3,049	1,440	1,241	2,711	2,577	▲198	▲134
営業利益	321	39	54	91	87	+15	▲4
経常利益	548	65	88	140	59	+23	▲81
親会社株主に帰属する当期純利益	295	58	79	117	70	+21	▲47

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	96.48	57.50	59.21	60.00	54.81	+1.71	▲5.19
為替/USD (円/USD)	106.23	115.00	121.44	115.00	120.82	+6.44	+5.82
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	55.74	29.80	32.93	32.52	27.45	+3.13	▲5.07
為替/CAD (円/CAD)	103.63	95.00	98.61	95.00	90.00	+3.61	▲5.00

[(参考) 今回予想における四半期毎の油価と為替の前提]

16/3月期 11.6公表予想	1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想	4Q 予想
原油CIF価格 (USD/bbl)	56.49	62.50	50.00	50.00
為替/USD (円/USD)	119.74	123.31	120.00	120.00

# 長期経営ビジョンと中期事業計画

「石油・天然ガスE&P事業を軸とする総合エネルギー企業への転換」

	成長投資 安定配当		収益向上 株主還元		株主還元の 更なる充実
	2014年度末時点		2019年度		2025年度
E&P事業	生産日量(原油換算) <b>7.4万</b> バレル/日 埋蔵量(原油換算) <b>3.13億</b> バレル	進行中大型プロジェクトの着実な遂行	生産日量(原油換算) <b>10万</b> バレル/日 埋蔵量(原油換算) <b>5.5億</b> バレル	再投資サイクルの確立	<b>RRR &gt; 1</b> の長期的な維持
国内天然ガス等供給事業	天然ガス年間取扱量 <b>120万t</b> (LNG換算) 発電事業の検討	「供給」「調達」両面における多様化	<b>150万t</b> (LNG換算) 相馬LNG基地竣工 発電事業FID	多様化の拡充	<b>250万t</b> (LNG換算) 相馬LNG火力発電 <b>120万kW + α</b>
環境・新技術事業	地熱発電、CCS マンハイトレートの推進		<b>技術確立</b>		<b>事業化目途</b>
CSR経営	女性管理職比率 <b>3.4%</b>	“SHINE”の推進	女性管理職比率 <b>3倍に</b>	多様な人材の確保と人材育成	

# E&P事業① 国内探鉱 上期実績と下期計画

## ● 16/3月期(2015年度) 掘削作業の実績・計画

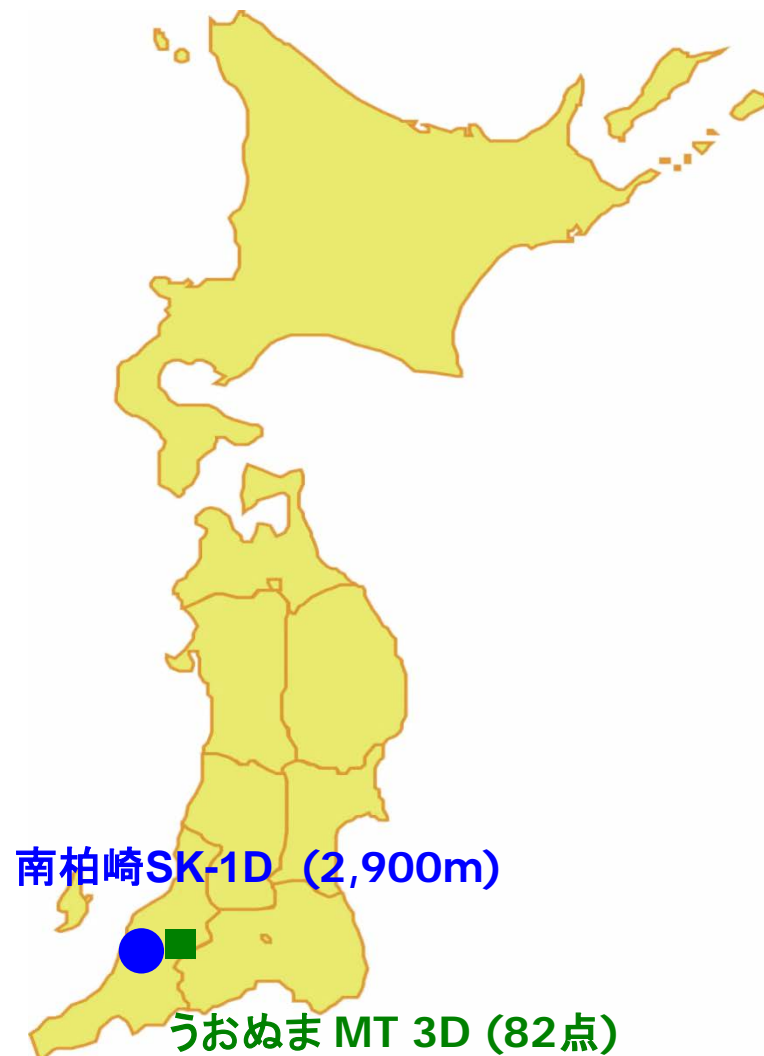
名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
南柏崎SK-1D (試掘井)	2,900m												

## ■ 16/3月期(2015年度) 物理探鉱作業の実績・計画

うおぬまMT 3D	新潟県 長岡市・小千谷市 (82点) 9～11月作業実施 (電磁探査: 地下の岩石の電気比抵抗を調査)
-----------	---



南柏崎SK-1D 掘削作業の様子





# E&P事業② 海外重点地域での取り組み

## 英国・ノルウェー

英領北海探鉱区  
(探鉱)

## サハリン

サハリン1プロジェクト  
(生産中&開発)

オイルサンド(生産中&開発)  
シェールガス・LNGプロジェクト  
(ガス生産中 液化設備開発検討中)

## カナダ

Japex (U.S.) Corp.(生産中)

## 中東

イラク  
ガラフ油田 (生産中&開発)

## 東南アジア

カンゲアン鉱区 (生産中&開発)

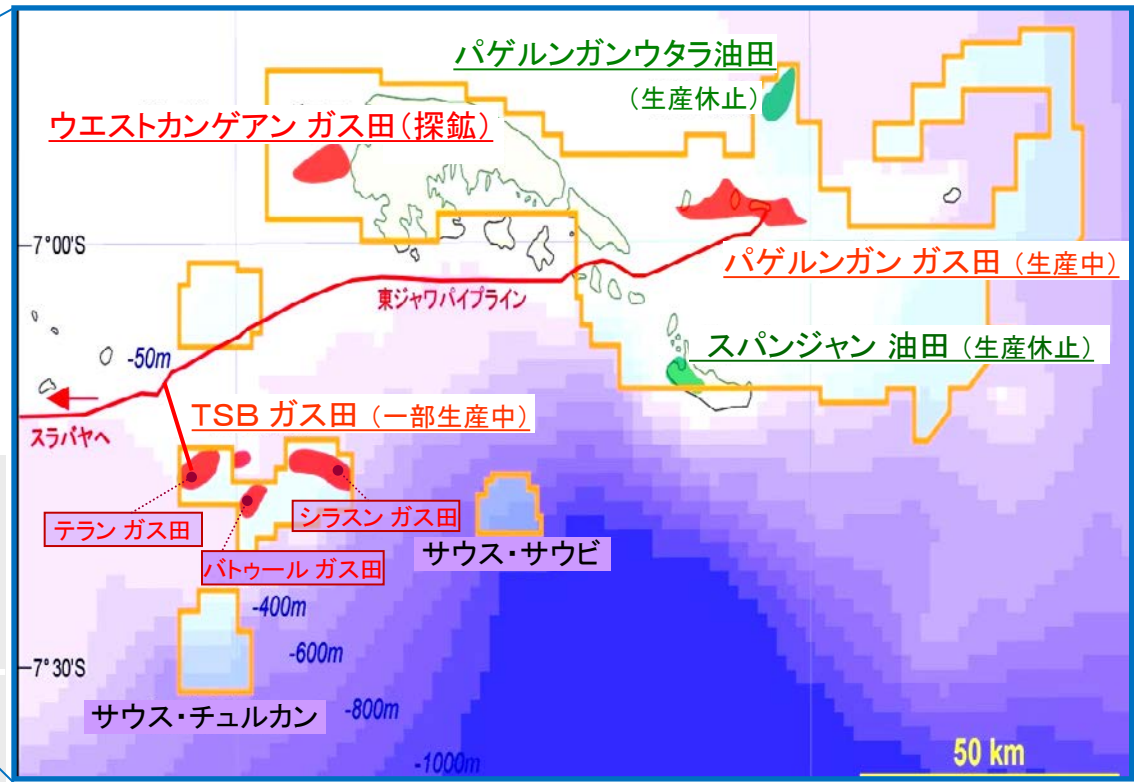
重点地域

連結子会社及び持分法適用関連会社が  
権益を保有する主な鉱区

# E&P事業③ インドネシア カンゲアン鉱区



プロジェクト会社	<b>Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI)</b> 他2社：持分法適用会社
権益比率	<b>25%</b> (オペレーター：KEI)

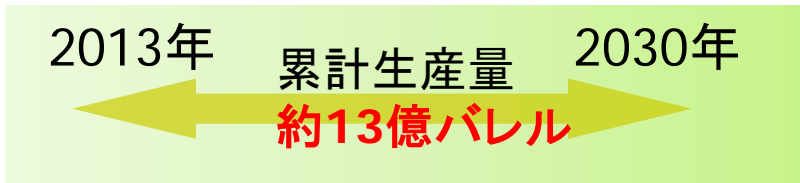


- 現在の生産規模は、原油換算で最大日量約5万バレル
- TSBガス田 (Phase1 テラン)：2012年5月末生産開始、最大生産日量3億立方フィート(原油換算で約5万バレル) (Phase2 シラスン、バトゥール)：開発準備中
- サウス・サウビ構造：2016年試掘に向けて準備中



# E&P事業④ イラク ガラフ油田開発

プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ	
参加比率	<b>30%</b> (資金負担40%) オペレーター：PETRONAS	
油田名	ガラフ油田	生産中



## ■開発スケジュール

2013年	8/31 ガラフ油田 生産開始 平均生産量：日量約6.4万バレル
2014年～ 2016年	2014年平均生産量：日量約8.4万バレル 2015年10月現在：日量約10万バレル * 段階的に生産量引き上げ
2017年以降	日量 <b>23万バレル</b> 到達予定



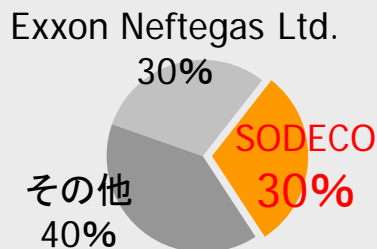
# E&P事業⑤ サハリン1 プロジェクト

プロジェクト  
会社

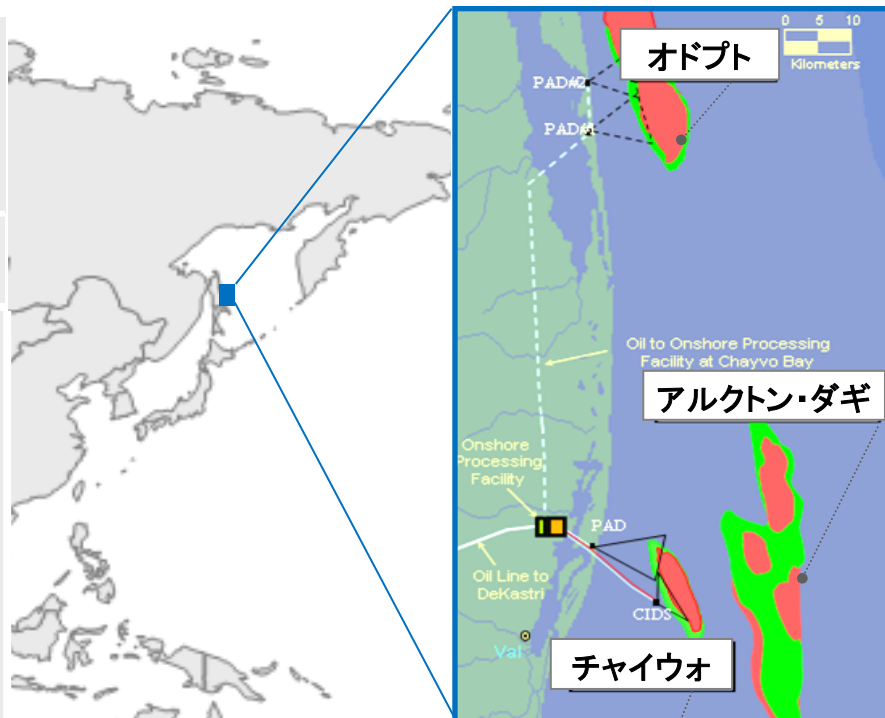
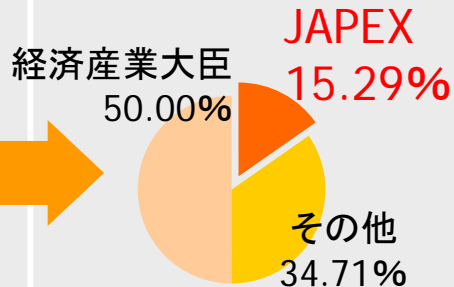
サハリン石油ガス開発(株)  
(SODECO)  
持分法適用会社

権益比率

サハリン1  
コンソーシアム



SODECO



鉱区

チャイウオ、  
オドプト、  
アルクトン・  
ダギ

3油田で生産中

※ アルクトン・ダギは2015年1月より生産開始

※ チャイウオは2015年に大偏距掘削で  
13,500mの世界記録を達成

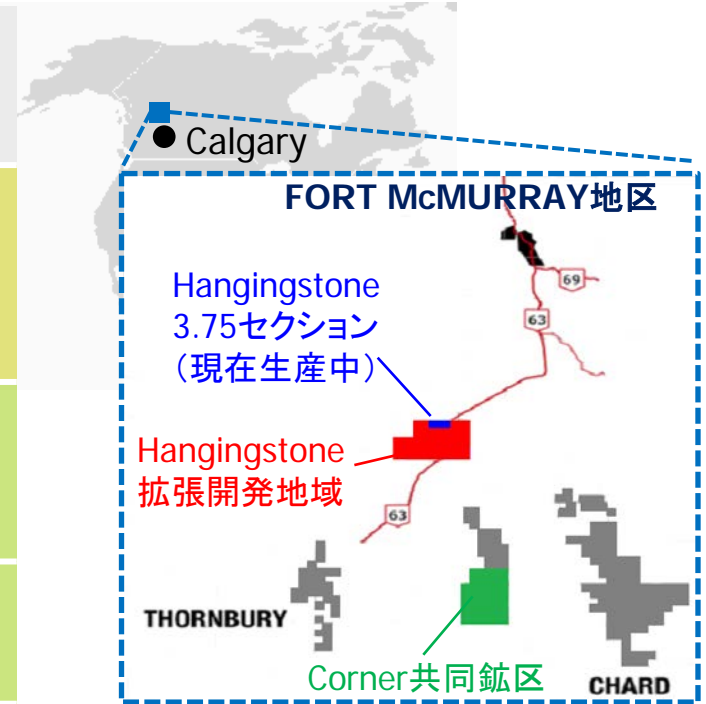
合計原油生産量: 日量約**18万バレル**

※ 生産量は、当社見積もりによる、  
プロジェクト全体の2015年平均日量



# E&P事業⑥ カナダオイルサンド

プロジェクト会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) オペレーター: Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)	
鉱区	ハンギングストーン3.75セクション (権益比率) <b>100%</b> 日量約5千~約6千バレル	生産中 (2015年9月末累計生産量: 3,413万バレル)
	ハンギングストーン拡張開発地域 (権益比率) <b>75%</b> 日量2万バレル規模から段階的拡張を予定	開発作業中
	コーナー共同鉱区 (権益比率) <b>12%</b>	評価作業中
	その他ビチューメン鉱区 (コーナー、チャード、ゾンベリー等)	検討中



## ■ハンギングストーン拡張開発スケジュール

2013年	2月: 開発工事着手(初期土木工事)
2014年	8月: 初期土木工事完了、現場での施設建設工事開始
2015年	2月: 水平井掘削作業完了
2016年末~2017年前半	<b>生産開始予定</b>



# E&P事業⑦ カナダシェールガス・LNGプロジェクト

	シェールガス開発・ 生産プロジェクト(上流)	LNGプロジェクト (中流)
鉱区/ プラント 候補地	カナダ ブリティッシュ・コ ロンビア州ノース・モント ニー地域	同州プリンス・ルパート レルー島
当社子会社 参加比率	10%権益	10%持分
オペレーター	PETRONAS (子会社含む)	PETRONAS (子会社含む)
現況	シェールガス生産・販売中	LNG設備建設業者選定 作業中



## ■プロジェクトスケジュール

2013年	契約締結、シェールガス生産・販売
2015年6月	条件付最終投資決定(FID)
2015年7月	BC州議会によるプロジェクト開発契約承認
2015~2016年	カナダ連邦政府の環境影響評価承認後、最終投資決定(FID)予定
2020年以降	<b>LNG生産開始(1200万トン超/年)予定</b>



# 国内天然ガス等供給事業① 相馬LNG基地の建設

## ■相馬LNG基地設備概要

建設地	福島県相馬郡新地町 (相馬港4号埠頭地区)
容量	地上式PC型23万kl(約10万t)貯槽×1基
受入設備	LNG外航船:1式(最大21万m <sup>3</sup> 級) LPG内航船:1式(最大2,500m <sup>3</sup> 級)
気化器	送出能力:7.0MPa 150t/h
出荷設備	LNG内航船:最大4,800 m <sup>3</sup> 級 LNGローリー:5レーン、30t/h
操業開始時期	2018年3月(予定)



## ■相馬・岩沼間ガスパイプライン設備概要

起点・終点	起点:相馬LNG基地 終点:岩沼分岐バルブステーション (宮城県岩沼市)
口径	20B(20インチ=外径508mm)
設計圧力	7.0Mpa(メガパスカル)
延長	約39km
操業開始時期	2018年3月(予定)



相馬LNG基地 コンクリート打設工事  
(6/28~29)の様子  
・コンクリート打設量:9,778m<sup>3</sup>  
・ミキサー車:延べ2,317台



接続パイプライン  
着工(10/7)

# 国内天然ガス等供給事業② 発電事業の検討

## ■相馬港天然ガス発電所(仮称)計画概要

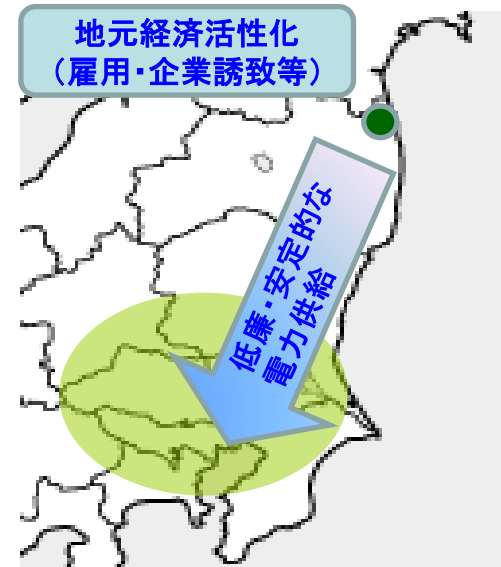
原動力の種類	ガスタービン及び汽力 (コンバインドサイクル方式)
出力	約120万kW (約60万kW×2基)
現況	福島ガス発電(株)設立 環境アセスメント手続き中



## ■スケジュール

2014年11月4日	「配慮書」を経済産業大臣に提出
2015年1月5日	「配慮書」への経済産業大臣の意見書交付
2015年4月23日	「福島ガス発電(株)」設立
2015年5月7日	「方法書」を経済産業大臣に提出
2015年10月6日	経済産業大臣より「方法書」の勧告を受領
2016年央	「準備書」を経済産業大臣に提出(予定)
2017年央	環境アセスメント手続き完了、現地工事開始(予定)
2020年1月	1号機運転開始(予定)
2020年4月	2号機運転開始(予定)

2020年に首都圏へ電力供給  
開始することを目指す





# 環境・新技術事業 地熱発電、MH、CCS、太陽光発電

## CCS



画像提供：日本CCS調査会

苫小牧CCS実証プロジェクト地上設備

## 地熱発電事業



武佐岳地域での仮噴気試験

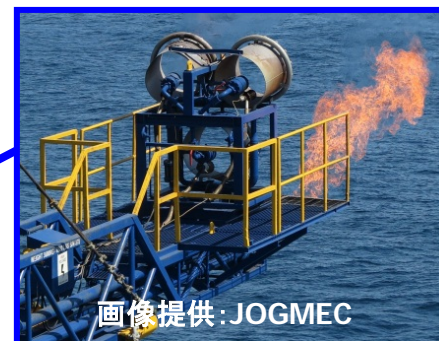
## 太陽光発電事業



北海道鉱業所メガソーラー発電所



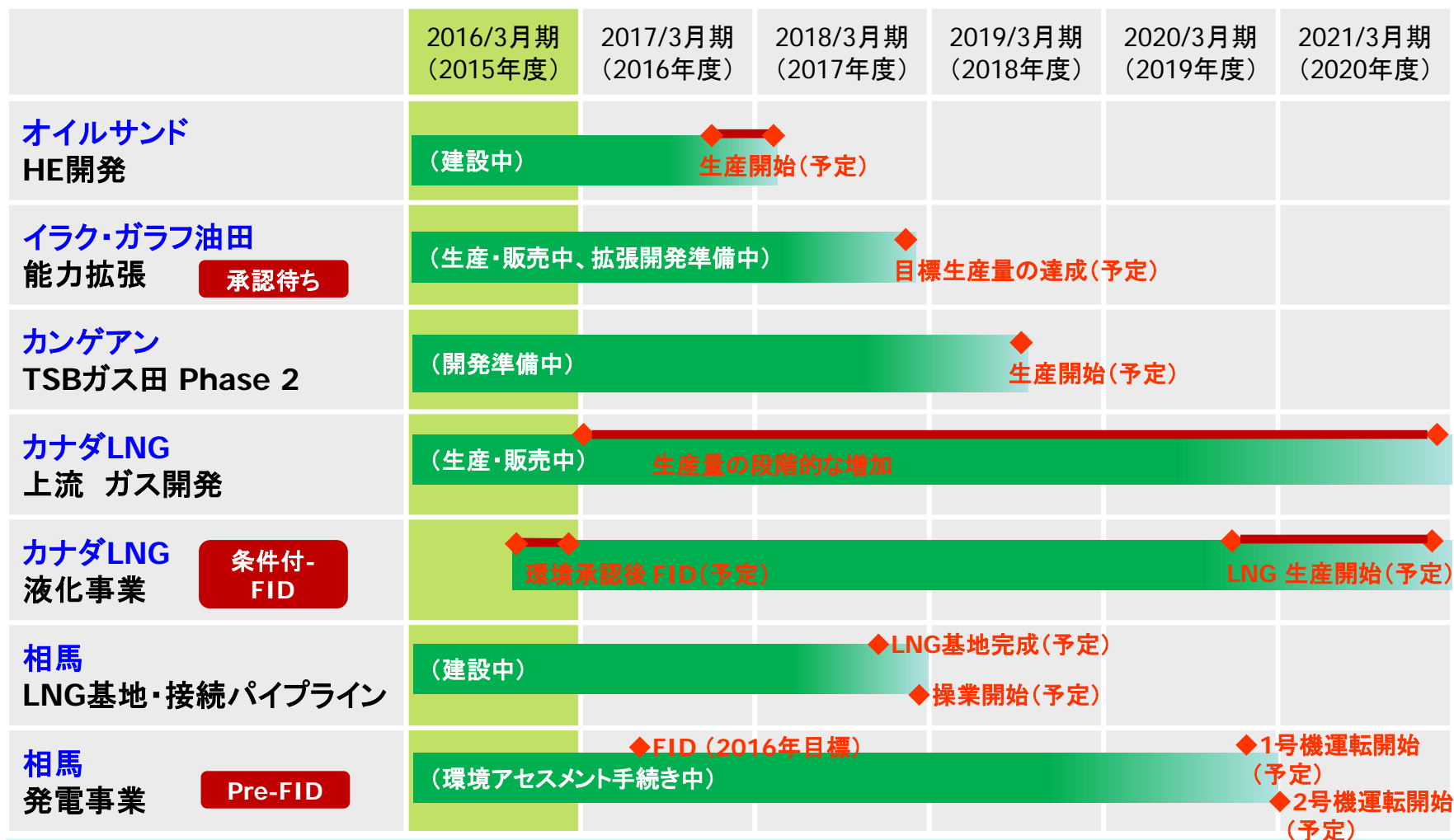
## メタンハイドレート(MH)



画像提供：JOGMEC

第1回メタンハイドレート海洋産出試験

# 主要プロジェクトのタイムライン



設備投資資金は、当社資金、国等の出資・債務保証制度、借入金、内部収入の充当、プロジェクトファイナンス等の活用を通じ、最適なファイナンス・ミックスを追求

# CSR経営 “SHINE” の推進

- すべてのステークホルダーからの期待・要請に応え、信頼されるグローバル企業として成長するため、CSR重点課題「SHINE」を実現するための取組みを推進。

**S** エネルギー安定供給

: **S**table & Sustainable Energy Supply

⇒ 新技術の開発・・・

**H** 企業文化としてのHSE

: **H**SE As Our Culture

⇒ 労働安全衛生、地球温暖化対応・・・

**I** 誠実性とガバナンス

: **I**ntegrity & Governance

⇒ ガバナンス、コンプライアンス・・・

**N** 社会との良好な関係構築

: Being a Good **N**eighbor

⇒ 地域社会との共存・発展・・・

**E** 選ばれる魅力ある職場

: The **E**mployer of Choice

⇒ ダイバーシティ、人材育成・・・

多様な人材  
の確保と  
人材育成

女性管理職比率

⇒ 2014年 3.4%

2020年までに **3倍に**

人材育成制度の整備

⇒ 個々人の能力の多能化又は  
専門性の向上を図る

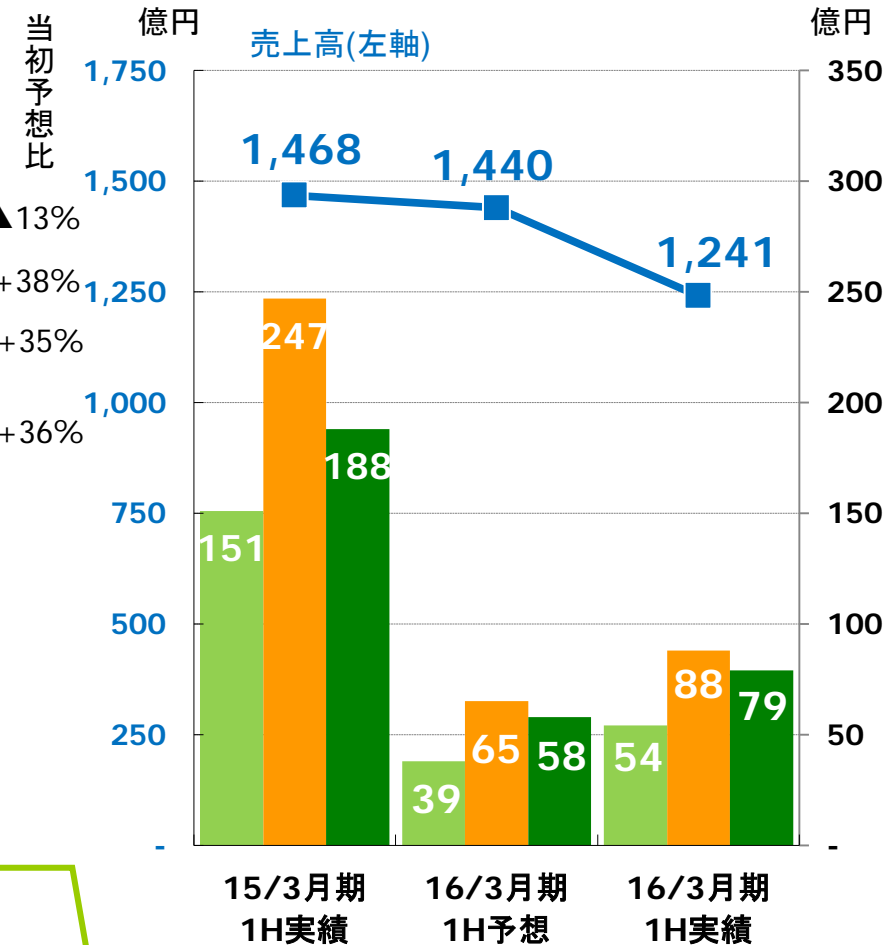
---

## Ⅱ. 2016年3月期 第2四半期決算概要

執行役員 山下 通郎

# 16/3月期 第2四半期累計期間 決算サマリー

単位: 億円	15/3月期 1H 実績 (a)	16/3月期 当初予想 1H (e) 5.12公表	16/3月期 1H 実績 (a)	当初 予想比
売上高	1,468	1,440	1,241 ▲13%	
営業利益	151	39	54 +38%	
経常利益	247	65	88 +35%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	188	58	79 +36%	
原油CIF価格と為替 (原油CIF: USD/bbl 為替: 円/USD)				
原油CIF	110.06	57.50	59.21	
為替/USD	102.13	115.00	121.44	
ビチューメン価格と為替 (ビチューメン: CAD/bbl 為替: 円/CAD)				
ビチューメン	58.93	29.80	32.93	
為替/CAD	95.04	95.00	98.61	



## 16/3月期実績と当初予想との差異【ポイント】

※「増益要因を +」、「減益要因を ▲」で記載

- 売上高 ▲198億円 ガラフ原油の販売期ズレ
- 営業利益 +15億円
- 経常利益 +23億円 持分法投資利益 +10億円
- 親会社株主に帰属する  
四半期純利益 +21億円

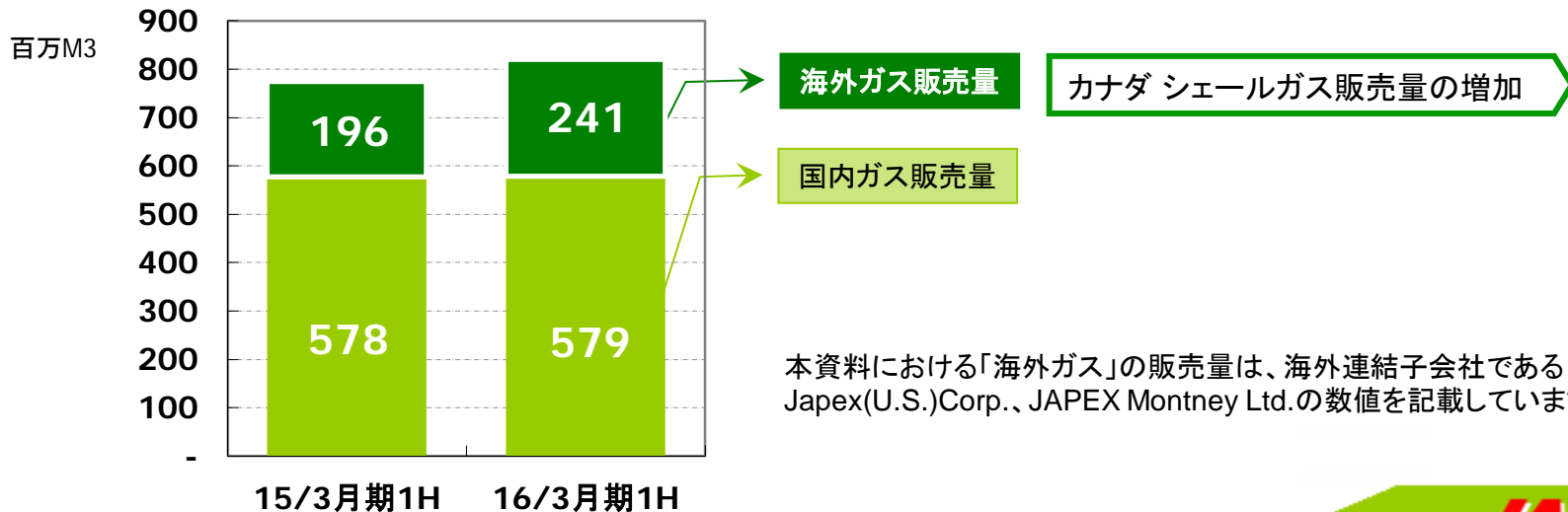
■ 営業利益(右軸)  
■ 経常利益(右軸)  
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右軸)

## 16/3月期 第2四半期累計期間(天然ガス販売状況)

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		15/3月期	16/3月期	比較増減
		14/4-9月 1H (a)	15/4-9月 1H (a)	
天然ガス	販売量	775	820	+45
	売上高	37,458	33,031	▲4,427

## 販売量内訳

国内ガス	販売量	578	579	+0
(うち国産天然ガス)	販売量	(382)	(361)	(▲21)
海外ガス	販売量	196	241	+45



## 16/3月期 第2四半期累計期間(原油販売状況)

販売量: 千KL 売上高: 百万円		15/3月期 14/4-9月 1H (a)	16/3月期 15/4-9月 1H (a)	比較増減
原油	販売量	1,107	1,480	+372
	売上高	73,500	57,148	▲16,352

## 権益原油の内訳

国産原油	販売量	190	180	▲10	販売価格の下落
	売上高	13,768	8,427	▲5,341	
海外原油	販売量	273	669	+396	ガラフ油田の原油販売数量増
	売上高	18,568	24,416	+5,847	
ビチューメン	販売量	152	143	▲9	販売価格の下落
	売上高	5,382	2,927	▲2,454	

## 原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	110.06	59.21	▲50.85
為替	円/USD	102.13	121.44	+19.31
ビチューメン	CAD/bbl	58.93	32.93	▲26.00
為替	円/CAD	95.04	98.61	+3.57

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャベックスガラフの数値を記載しています。

## 16/3月期 第2四半期累計期間 決算概要(前年同期比)

単位：百万円	15/3月期	16/3月期	比較増減
	14/4-9月 1H (a)	15/4-9月 1H (a)	
売上高	146,850	124,157	▲22,692
売上総利益	34,515	26,408	▲8,106
探鉱費	3,260	4,769	+1,509
販売管費	16,143	16,231	+87
営業利益	15,110	5,407	▲9,703
営業外損益	9,625	3,434	▲6,190
経常利益	24,736	8,842	▲15,894
特別損益	13	▲72	▲85
法人税等	4,781	3,660	▲1,121
非支配株主に帰属する 四半期純利益	1,095	▲2,853	▲3,948
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,873	7,963	▲10,910

損益変動要因 (MEMO)

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」で記載

## 売上総利益

国内原油天然ガス

▲37億円

海外連結子会社

▲44億円

## 探鉱費

国内探鉱費用の減少

+8億円

海外探鉱費用の増加

▲23億円

## 営業外損益

持分法投資利益

▲48億円

為替差損益

▲12億円



---

## Ⅲ. 2016年3月期 通期業績予想

執行役員 山下 通郎

# 16/3月期 通期業績予想修正 【前提条件】

## [油価、為替等の前提]

2015年				2016年	通期
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	

WTI	USD/bbl	従来予想	50.00	55.00	60.00	60.00		56.25
		修正予想	48.70	57.75	46.50	40.00		48.24
原油CIF (JCC)	USD/bbl	従来予想		55.00	60.00	60.00	65.00	60.00
		修正予想		56.49	62.50	50.00	50.00	54.81
為替	円/USD	従来予想		115.00	115.00	115.00	115.00	115.00
		修正予想		119.74	123.31	120.00	120.00	120.82

JACOS Bitumen	CAD/bbl	従来予想	27.72	32.45	35.16	35.18		32.52
		修正予想	28.15	38.57	24.32	20.07		27.45
JML Gas	CAD/mcf	従来予想	3.54	3.53	3.57	3.62		3.57
		修正予想	2.37	2.35	2.23	1.82		2.17

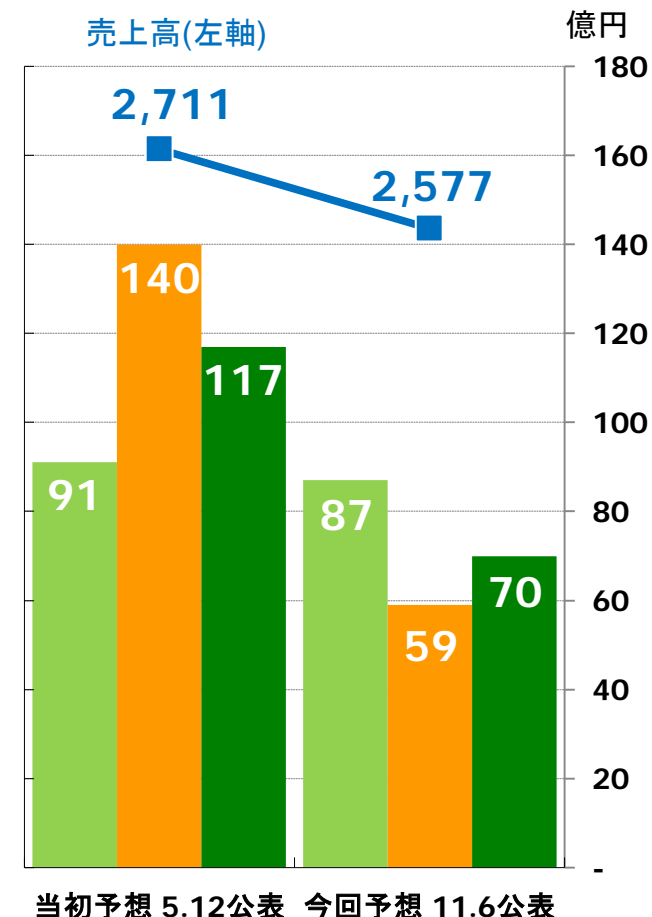
1. “JACOS Bitumen” は JACOS社のビチューメン販売単価 (ロイヤルティ控除後)
2. “JML Gas” は Japex Montney社のガス販売価格 (ロイヤルティ控除後)

## 16/3月期 通期業績予想 修正サマリー

単位: 億円	16/3月期 当初予想 通期 (e) 5.12公表	16/3月期 今回予想 通期 (e) 11.6公表	比較増減	当初 予想比	億円
売上高	2,711	2,577	▲134	▲4%	2,850 2,700 2,550 2,400
営業利益	91	87	▲4	▲4%	
経常利益	140	59	▲81	▲58%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	117	70	▲47	▲40%	
原油CIF価格と為替 (原油CIF: USD/bbl 為替: 円/USD)					
原油CIF	60.00	54.81	▲5.19		
為替/USD	115.00	120.82	+5.82		
ビチューメン価格と為替 (ビチューメン: CAD/bbl 為替: 円/CAD)					
ビチューメン	32.52	27.45	▲5.07		
為替/CAD	95.00	90.00	▲5.00		

〔(参考)原油CIF価格(USD/bbl)とビチューメン価格(CAD/bbl)の予想比較〕

	1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想	4Q 予想
原油CIF(当初予想)	55.00	60.00	60.00	65.00
(今回予想)	56.49	62.50	50.00	50.00
ビチューメン(当初予想)	27.72	32.45	35.16	35.18
(今回予想)	28.15	38.57	24.32	20.07



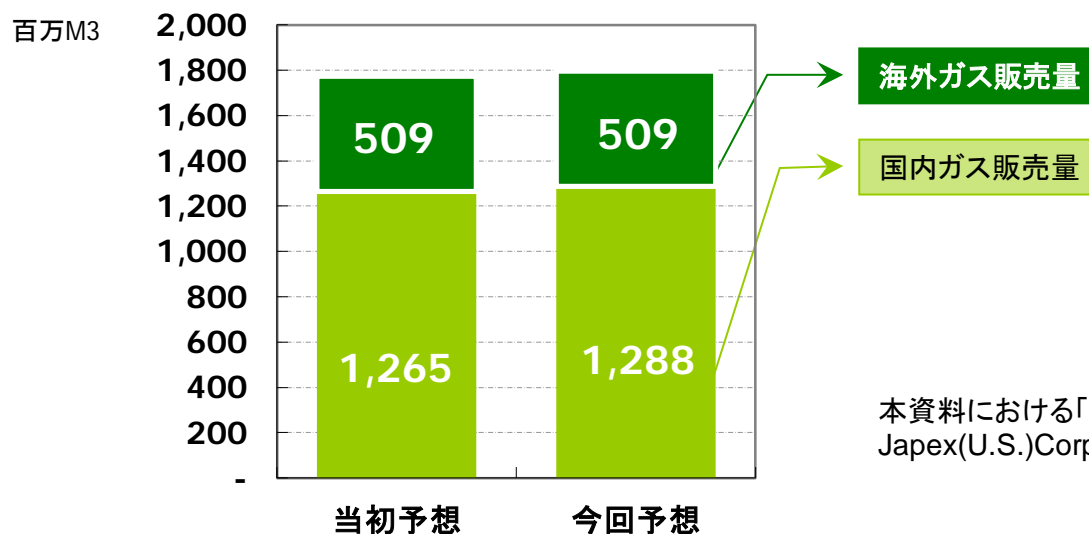
営業利益(右軸)  
経常利益(右軸)  
親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)

## 16/3月期 通期 天然ガス販売予想 修正 (5.12公表比)

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		16/3月期		比較増減
		当初予想 5.12公表	今回予想 11.6公表	
天然ガス	販売量	1,773	1,797	+23
	売上高	67,856	70,094	+2,239

## 販売量内訳

国内ガス	販売量	1,265	1,288	+23
(うち国産天然ガス)	販売量	(757)	(765)	(+8)
海外ガス	販売量	509	509	+0



本資料における「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社である Japex(U.S.)Corp.、JAPEX Montney Ltd.の数値を記載しています。

## 16/3月期 通期 原油販売予想 修正(5.12公表比)

販売量: 千KL 売上高: 百万円		16/3月期 当初予想 通期 (e) 5.12公表	16/3月期 今回予想 通期 (e) 11.6公表	比較増減
原油	販売量	3,423	3,397	▲25
	売上高	135,841	119,837	▲16,004

## 権益原油の内訳

国産原油	販売量	335	341	+7
	売上高	14,964	15,181	+218
海外原油	販売量	1,827	1,796	▲31
	売上高	72,103	59,893	▲12,209
ビチューメン	販売量	294	296	+2
	売上高	5,710	4,599	▲1,111

販売価格の下落

販売価格の下落

## 原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	60.00	54.81	▲5.19
為替	円/USD	115.00	120.82	+5.82
ビチューメン	CAD/bbl	32.52	27.45	▲5.07
為替	円/CAD	95.00	90.00	▲5.00

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャベックスガラの数値を記載しています。

## 16/3月期 通期業績予想 修正(5.12公表比)

単位：百万円	16/3月期	16/3月期	比較増減
	当初予想 通期(e) 5.12公表	今回予想 通期(e) 11.6公表	
売上高	271,118	257,724	▲13,394
売上総利益	49,475	49,055	▲421
探鉱費	7,243	7,338	+95
販売管費	33,112	33,038	▲74
営業利益	9,120	8,679	▲441
営業外損益	4,891	▲2,802	▲7,694
経常利益	14,012	5,877	▲8,135
特別損益	▲20	52	+73
法人税等	5,205	5,466	+261
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲2,919	▲6,506	▲3,587
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,705	6,970	▲4,735

## 損益変動要因 (MEMO)

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」で記載

## 売上総利益

国内原油天然ガス  
海外連結子会社+27億円  
▲26億円

## 営業外損益

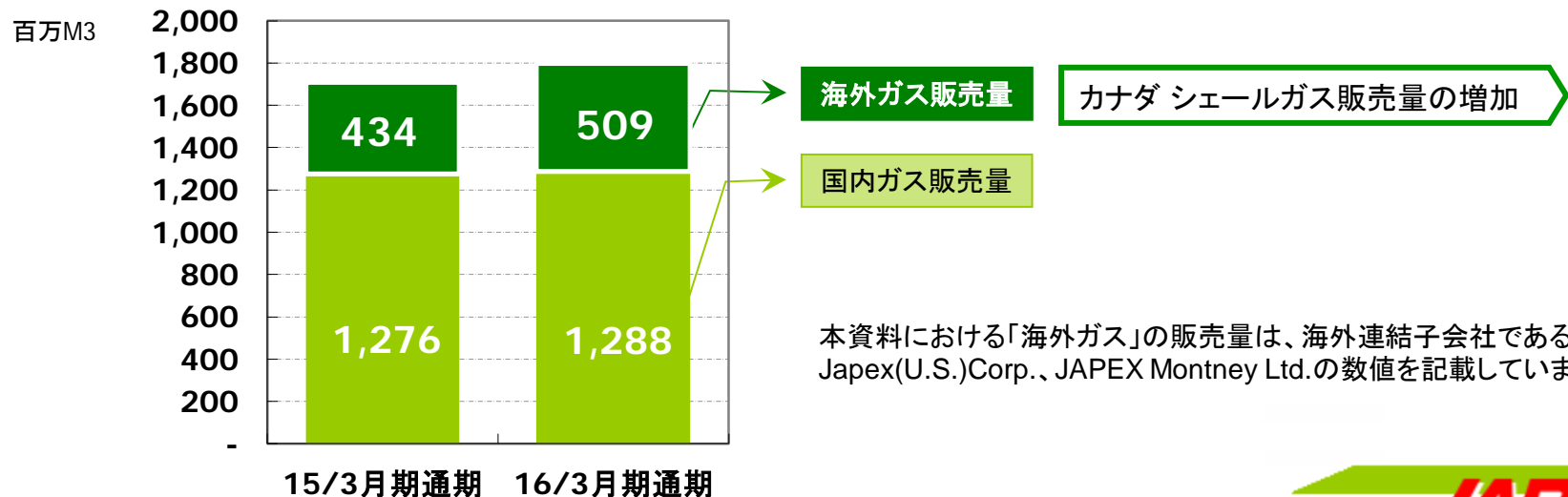
借入金の為替換算差額  
持分法投資利益▲69億円  
▲ 3億円

## 16/3月期 通期 天然ガス販売予想 修正(前期比)

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		15/3月期	16/3月期	比較増減
		通期 実績 (a)	今回予想 通期 (e) 11.6公表	
天然ガス	販売量	1,710	1,797	+86
	売上高	83,974	70,094	▲13,880

## 販売量内訳

国内ガス	販売量	1,276	1,288	+11
(うち国産天然ガス)	販売量	(813)	(765)	(▲49)
海外ガス	販売量	434	509	+74



## 16/3月期 通期 原油販売予想 修正(前期比)

		15/3月期 通期 実績 (a)	16/3月期 今回予想 通期 (e) 11.6公表	比較増減
販売量: 千KL				
売上高: 百万円				
原油	販売量	2,396	3,397	+1,001
	売上高	133,346	119,837	▲13,510

## 権益原油の内訳

国産原油	販売量	367	341	▲26	販売価格の下落
	売上高	23,857	15,181	▲8,676	
海外原油	販売量	830	1,796	+966	ガラフ油田の原油 販売数量の増加
	売上高	43,466	59,893	+16,427	
ビチューメン	販売量	332	296	▲36	販売価格の下落
	売上高	12,105	4,599	▲7,507	

## 原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	96.48	54.81	▲41.67
為替	円/USD	106.23	120.82	+14.59
ビチューメン	CAD/bbl	55.74	27.45	▲28.29
為替	円/CAD	103.63	90.00	▲13.63

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャペックスガラフの数値を記載しています。



## 16/3月期 通期業績予想 修正(前期比)

単位：百万円	15/3月期	16/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	今回予想 通期 (e) 11.6公表	
売上高	304,911	257,724	▲47,188
売上総利益	70,262	49,055	▲21,207
探鉱費	4,489	7,338	+2,848
販売管費	33,625	33,038	▲588
営業利益	32,146	8,679	▲23,468
営業外損益	22,692	▲2,802	▲25,495
経常利益	54,839	5,877	▲48,962
特別損益	▲4,465	52	+4,518
法人税等	17,644	5,466	▲12,178
非支配株主に帰属する 当期純利益	3,161	▲6,506	▲9,668
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,567	6,970	▲22,598

損益変動要因 (MEMO)  
「増益要因を +」、「減益要因を ▲」  
で記載

## 売上総利益

国内原油天然ガス  
海外連結子会社

▲76億円  
▲125億円

## 探鉱費

海外探鉱費用の増加

▲27億円

## 営業外損益

持分法投資利益  
借入金の為替換算差額  
その他 為替差損益の変動

▲101億円  
▲69億円  
▲64億円

# 油価・為替の前提及び収益への影響：対象期間 3Q-4Q

		15/3月期	16/3月期				
		1Q-4Q(a)	1stQ(a)	2ndQ(a)	3rdQ(e)	4thQ(e)	1Q-4Q(e)
原油CIF	USD/bbl	96.48	56.49	62.50	50.00	50.00	54.81
為替	円/USD	106.23	119.74	123.31	120.00	120.00	120.82
ビチューメン	CAD/bbl	55.74	28.15	38.57	24.32	20.07	27.45
為替	円/CAD	103.63	94.78	98.61	89.34	90.00	90.00
カナダ産ガス	CAD/mcf	4.20	2.37	2.35	2.23	1.82	2.17

油価と為替 の前提	原油CIF価格 (3rdQ-4thQ)	為替 (3rdQ-4thQ)	ビチューメン 価格 (4thQ)	カナダ産 ガス価格 (4thQ)
	USD 50.00/bbl	120.00円/USD	CAD 20.07/bbl ( 90.00 円/CAD )	CAD 1.82/mcf

収益 影響額	USD 1 /bbl の 油価上昇 による 利益増加額は…	1円/USD の 円安 による 利益増加額は…	CAD 1 /bbl の ビチューメン価格上昇 による利益増加額は…	CAD 1 /mcf の カナダ産ガス価格上昇 による利益増加額は…
--------	-------------------------------------	-------------------------------	--	--

営業利益	360 百万円	200 百万円	40 百万円	410 百万円
当期純利益	250 百万円	120 百万円	30 百万円	170 百万円

注：為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。

## (参考)略語集

● BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バーレル(日量)
● CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素の回収、貯留
● COP	Conference Of the Parties	気候変動枠組条約締約国会議
● CSR	Corporate Social Responsibility	企業の社会的責任
● E&P	Exploration and Production	石油天然ガスの探鉱・開発・生産
● FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
● GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
● HE	Hangingstone Expansion	(カナダオイルサンド)ハンギングストーン拡張開発プロジェクト
● HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
● IOR (EOR)	Improved (Enhanced) Oil Recovery	増進回収法
● JCC	Japan Crude Cocktail	日本原油輸入価格平均
● JOGMEC	Japan Oil, Gas and Minerals National Corporation	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
● LNG	Liquefied Natural Gas	液化天然ガス
● MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
● P/L	Pipeline	パイプライン
● PNWL	Pacific North West LNG	カナダシェールガス・LNGプロジェクト
● ROE	Return on Equity	自己資本利益率
● RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
● SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	サハリン石油ガス開発株式会社
● TSB	Terang, Sirasun, Batur	テランガス田、シラスンガス田、バトゥールガス田
● WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油